

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-150070

⑤ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和63年(1988)6月22日

A 61 G 13/00

B-6779-4C

審査請求 有 発明の数 1 (全7頁)

⑬ 発明の名称 可搬式治療台

⑰ 特 願 昭61-298026

⑱ 出 願 昭61(1986)12月15日

⑲ 発 明 者 石 井 靖 彦 神奈川県逗子市池子2丁目3番42号

⑳ 出 願 人 石 井 靖 彦 神奈川県逗子市池子2丁目3番42号

㉑ 代 理 人 弁理士 旦 範 之

明 細 書

1. 発明の名称 可搬式治療台

2. 特許請求の範囲

台板1の一侧中央部に支柱2を立設し、この支柱2に外向きに突設した車軸4に大車輪5を枢設し、前記台板1の他側に複数個の第1の自在キャスタ6a, 6bを取着し、前記台板1の前記一侧に一端が枢支されかつ第2の自在キャスタ10を備えた自己復帰の挺子杆9とこの挺子杆9の下動位置を保持する挺子杆ロックレバー14とを備えたとともに、前記挺子杆9の下動操作で前記第2の自在キャスタ10を床面28に接しつつ前記大車輪5を床面28から浮上させる構成とし、かつ前記台板1の上部に台座23を備えたことを特徴とする可搬式治療台。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

この発明は治療台に係り、更に詳述すれば車輪で移動可能な可搬式治療台に関するものである。

[従来の技術]

治療台は一般に治療専用の部屋でしかもその床面に対し固定され、ハンドルあるいは挺子杆で複数分割された床板が独立して傾倒し、患者を治療に最もよい姿勢に保たせ得るようにした構成になっている。

[発明が解決しようとする問題点]

このような従来の治療台は治療専用の構成をなし患者の移動等はキャスタ付きの寝台が用いられている。しかし、このキャスタ付きの寝台はこの上で外科的治療を行なうには不向きな構造で、容態の重い患者では寝台から治療台への移し替えやその逆も困難な場合がある。

この発明は上述した容態の重い患者の移動と合せて治療を施し得る治療台を提供することを目的とするものである。

[問題点を解決するための手段]

上記この発明の目的は、台板1の一侧中央部に支柱2を立設し、この支柱2に外向きに突設した車軸4に大車輪5を枢設し、前記台板1の

他側に複数個の第1の自在キャスタ6a,6bを取着し、前記台板1の前記一侧に一端が枢支されかつ第2の自在キャスタ10を備えた自己復帰の挺子杆9とこの挺子杆9の下動位置を保持する挺子杆ロックレバー14とを備えたとともに、前記挺子杆9の下動操作で前記第2の自在キャスタ10を床面28に接しつつ前記大車輪5を床面28から浮上させる構成とし、かつ前記台板1の上部に台座23を備えることで達成される。

〔作用〕

この発明の可搬式治療台は、台板の他側下部に取付けられた第1の自在キャスタと一側側の支柱に取付けられた大車輪とで床面に接して前記台板の長手方向への移動を蛇行することなく移動することができ、挺子杆の踏下げ操作で該挺子杆に取付けられている第2の自在キャスタで大車輪を押し、前記第1の自在キャスタと第2の自在キャスタとで台板の幅方向の移動を行なうことができるものである。

〔実施例〕

設け、前記挺子杆9の端部に取付けられているフットペダル15を踏み下げた際、前記挺子杆9のフットペダル取付端に取付けられている係止ピン16が上端にペダルを有する棒状の前記レバー14の端部に形成された凹部17に入り込んで挺子杆9の下動位置を保持しキャスタ10の接床状態を保持せしめ得るようになっている。

前記台板1の上面には補強板18を介して支柱19を立設し、この支柱19に補強板20を介して屈折が可能な台座23を強固に固定する。

前記台座23は3個の座板24~26で構成され、座板25が補強板20に強固に水平に固定され、座板25の片側に落し込み突杆27cを座板の孔に落し込み式に着脱自在に立設したコ字状の棒材27bともう一方には棒材27aが取付けられ、座板24,26は座板25に対しその取付け角度を周知のラチェット機構や輪受等を介して自在に可変し得るように構成されている。

この発明の可搬式治療台Aは以上の如く構成されており、通常は第2図および第3図に示す

この発明の可搬式治療台は、第1図および第2図に示すように矩形の台板1の一侧中央に支柱2を保強片3をもって垂直に取付け、この支柱2の下方外側に強固に車輪4を突設せしめ、この車輪にゴムタイヤ付きの大車輪5を取付けると共に、前記台板1の他側下面に2個の自在キャスタ6a,6bを取付けて床上を前記大車輪5と取付用の枢軸と車輪が離れた位置にあり方向転換を容易にする2個の自在キャスタ6a,6bとで蛇行することなく台板1の長さ方向に移送し得るように構成する。前記台板1の一侧面側には一端を枢軸7で側面に取付けられ、前記支柱2との間に取付けられたスプリング8で反時計方向の回動力を付与された挺子杆9に第2の自在キャスタ10をその枢軸を若干傾斜させて取付け、前記台板1の前記他側側面の後方に枢軸11をもって枢支され、前記台板1との間にスプリング12で反時計方向の回動力を付与され、前記側面より突設したストッパピン13に当接してその回動を阻止された挺子杆ロックレバー14を

ように大車輪5と第1の自在キャスタ6a,6bとで平床面28上を移動でき、平床面28より高いドア敷居等の段差29を越える場合には第4図に示すように第1の自在キャスタ6a,6bを段差29から浮すように治療台Aを傾けて大車輪5のみでこの上を通過することで小径の自在キャスタ6a,6bが段差上を浮上して通過するとき大車輪5側では大きい衝撃を受けずに通過せしめることができる。すなわち仮令大車輪5だけで段差29を通過するときでも、大車輪5は大径であるから大きなショックを患者に与えない。

次に、台座23を図示していないベッドに平行寄せしたい場合には、第5図および第6図に示すようにペダル15をスプリング8の弾力に抗して下方に踏み下げれば、係止ピン16が挺子杆復帰用レバー14の側面に添ってこれをスプリング12の弾力に抗して反時計方向に若干回動させつつ下降し係止ピン16が凹部17に入り込み、第2の自在キャスタ10が床面28に接し、大車輪5を床面28より押し、第1および第2の自在キャスタ

6a, 6b および10が接床する。この状態で治療台Aを第6図の矢示方向に横押しすれば自在キャスタ6a, 6b および10の向きが変り、治療台をベッド上に狭い部屋内でも接離することができ枠材27bを第6図に示すように外して台座23から直接ベッドへ患者を移すことができ、またベッドから台座23に移すこともできる。

このあと、挺子杆復帰用レバー14の上端に設けられているペダルPを第7図に示すように踏んでストッパーピン13に当接している該レバーをスプリング12の弾力に抗して鎖線で示すように時計方向に若干回動させれば係止ピン16と凹部17との係止状態が外れ、第8図に示すように挺子杆9はスプリング8で反時計方向に回動しストッパーピン13に当接して停り、再び大車輪5と第1の自在キャスタ6a, 6bが床面28に接し、第2の自在キャスタ10は上方に持ち上げられる。なお枠材27a, 27bは両方共省略してもよい。

[発明の効果]

以上述べたようにこの発明は、台板1の一端

中央部に支柱2を立設し、この支柱2に外向きに突設した車輪4に大車輪5を枢設し、前記台板1の他側に複数個の第1の自在キャスタ6a, 6bを取着し、前記台板1の前記一侧に一端が枢支されかつ第2の自在キャスタ10を備えた自己復帰の挺子杆9とこの挺子杆9の下動位置を保持する挺子杆ロックレバー14とを備えるときに、前記挺子杆9の下動操作で前記第2の自在キャスタ10を床面28に接しつつ前記大車輪5を床面28から浮上させる構成とし、かつ前記台板1の上部に台座23を備えたので構成が簡単で付添い人1人でも患者の乗せ降しと移送ができ、特に床面の段差での患者に与える衝撃の緩和や移送方向の変換が容易に可能なため、狭い部屋での使用に好都合であり、大車輪が片側のみならず、台座上の患者をそのまま降すことなく治療を加えることができる等の効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

図はいずれもこの発明の一実施例を示すもので、第1図は治療台の斜視図、第2図は側面図、

第3図は平床面移送時の後面図、第4図は床に段差のある部分での移送時の後面図、第5図、第6図は第2の自在キャスタ接床時の治療台の側面図と後面図、第7図、第8図はいずれも第2の自在キャスタより大車輪接床に戻す状態の説明図である。

1…台板、2…支柱、4…車輪、5…大車輪、6a, 6b…第1の自在キャスタ、9…挺子杆、10…第2の自在キャスタ、14…挺子杆ロックレバー、23…台座、28…床面。

特許出願人 石 井 靖 彦

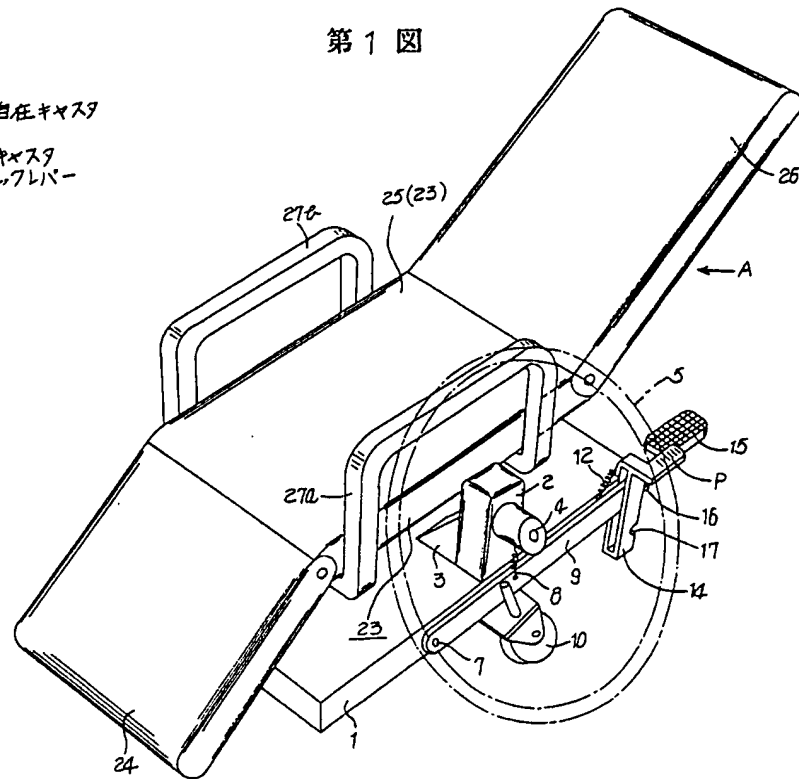
代 理 人 日 六 郎 治

岡 且 範



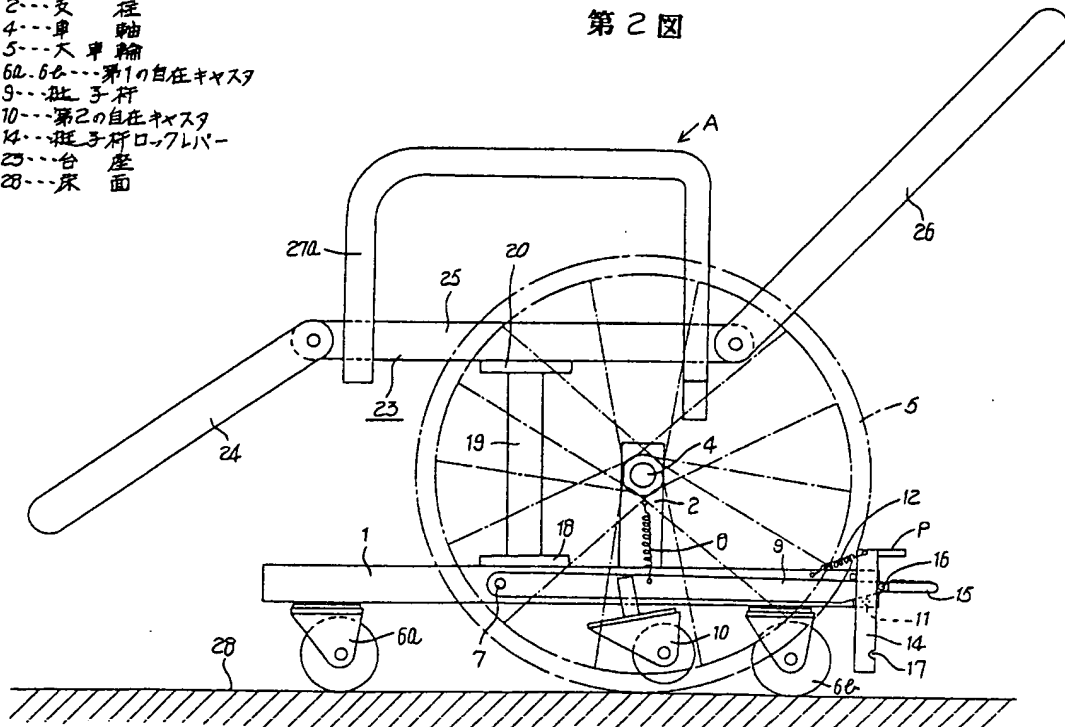
- 1...台板
2...支柱
4...車軸
5...大車輪
6a, 6b...第1の自在キヤスタ
9...揺子杆
10...第2の自在キヤスタ
14...揺子杆ロックレバー
25...台座
28...床面

第1図

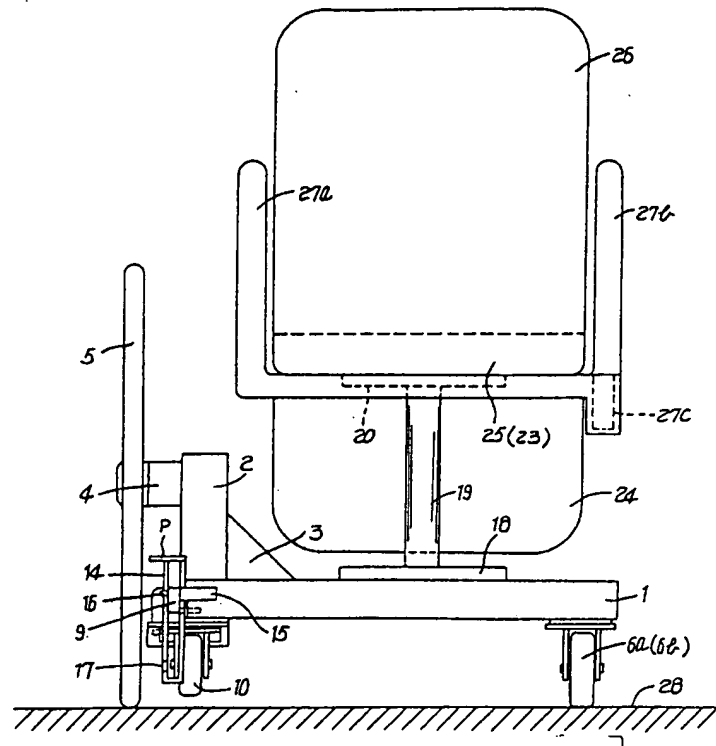


- 1...台板
2...支柱
4...車軸
5...大車輪
6a, 6b...第1の自在キヤスタ
9...揺子杆
10...第2の自在キヤスタ
14...揺子杆ロックレバー
25...台座
28...床面

第2図

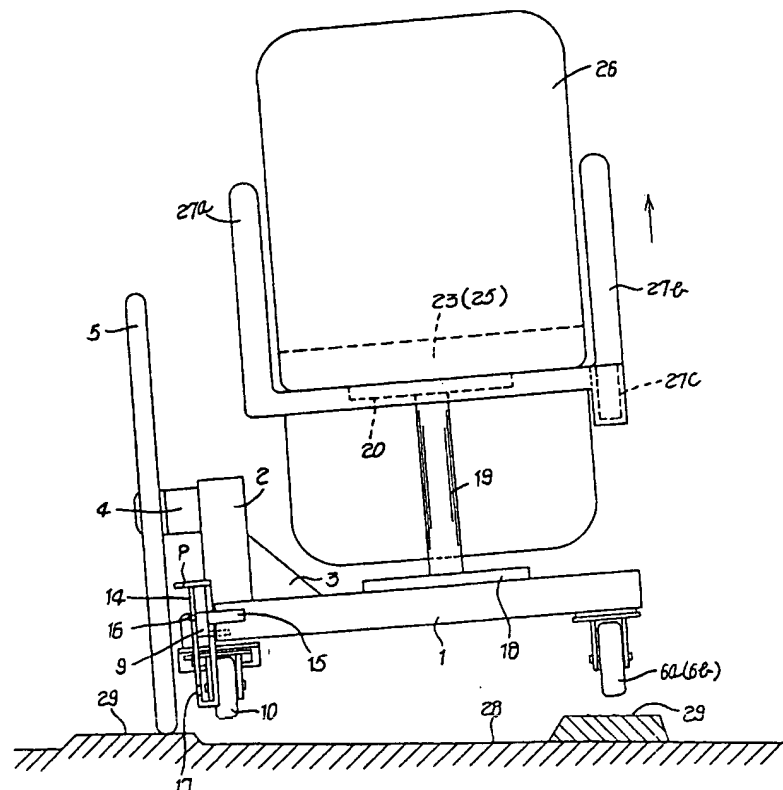


第 3 図



- 1...台 板
- 2...支 柱
- 4...車 軸
- 5...大 車 輪
- 6a, 6b...第1の自在キヤスタ
- 9...揺子杆
- 10...第2の自在キヤスタ
- 14...揺子杆ロックレバー
- 25...台 座
- 28...床 面

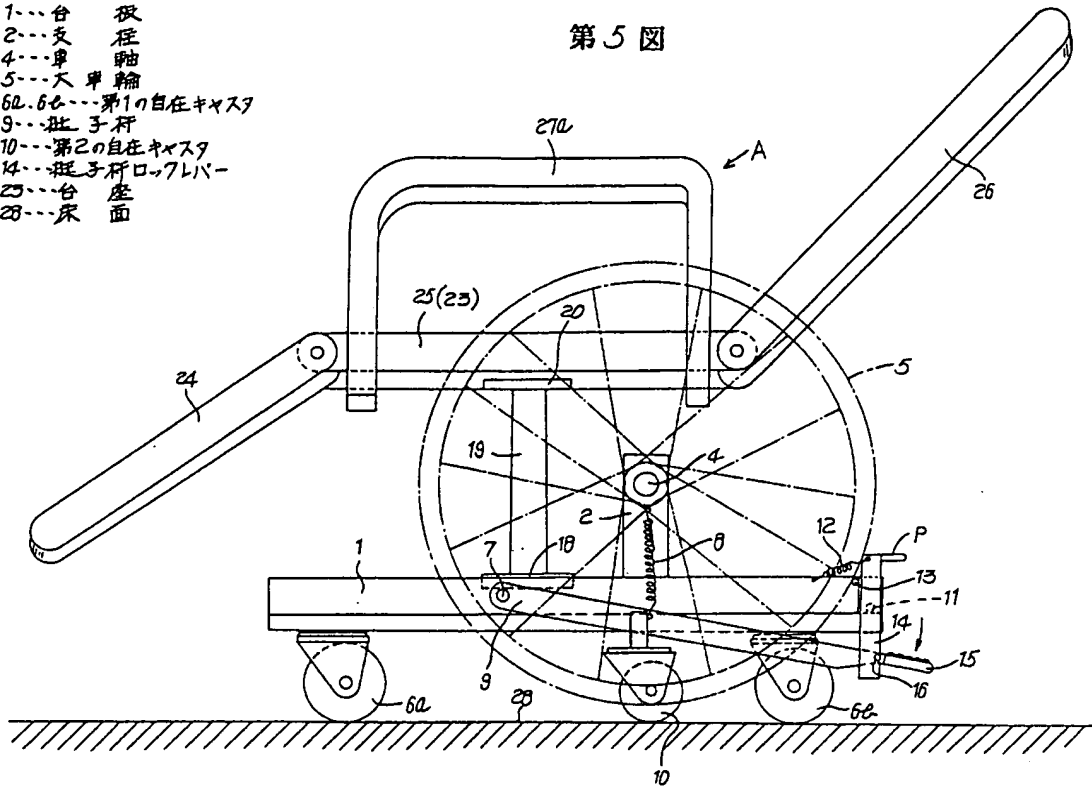
第 4 図



- 1...台 板
- 2...支 柱
- 4...車 軸
- 5...大 車 輪
- 6a, 6b...第1の自在キヤスタ
- 9...揺子杆
- 10...第2の自在キヤスタ
- 14...揺子杆ロックレバー
- 25...台 座
- 28...床 面

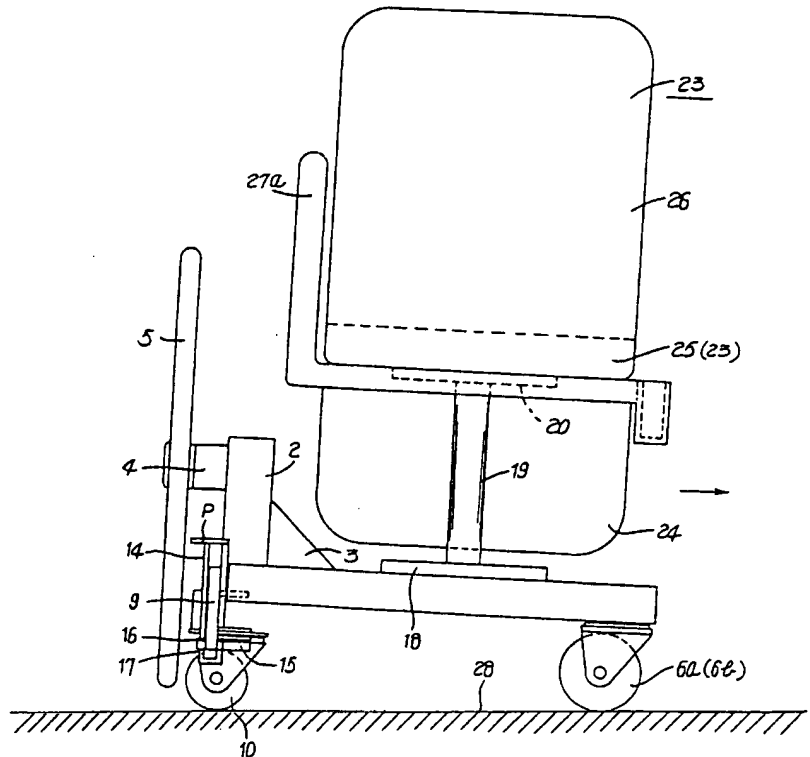
- 1...台板
2...支柱
4...車軸
5...大車輪
6a, 6b...第1の自在キヤスタ
9...揺子杆
10...第2の自在キヤスタ
14...揺子杆ロックレバー
23...台座
28...床面

第5図



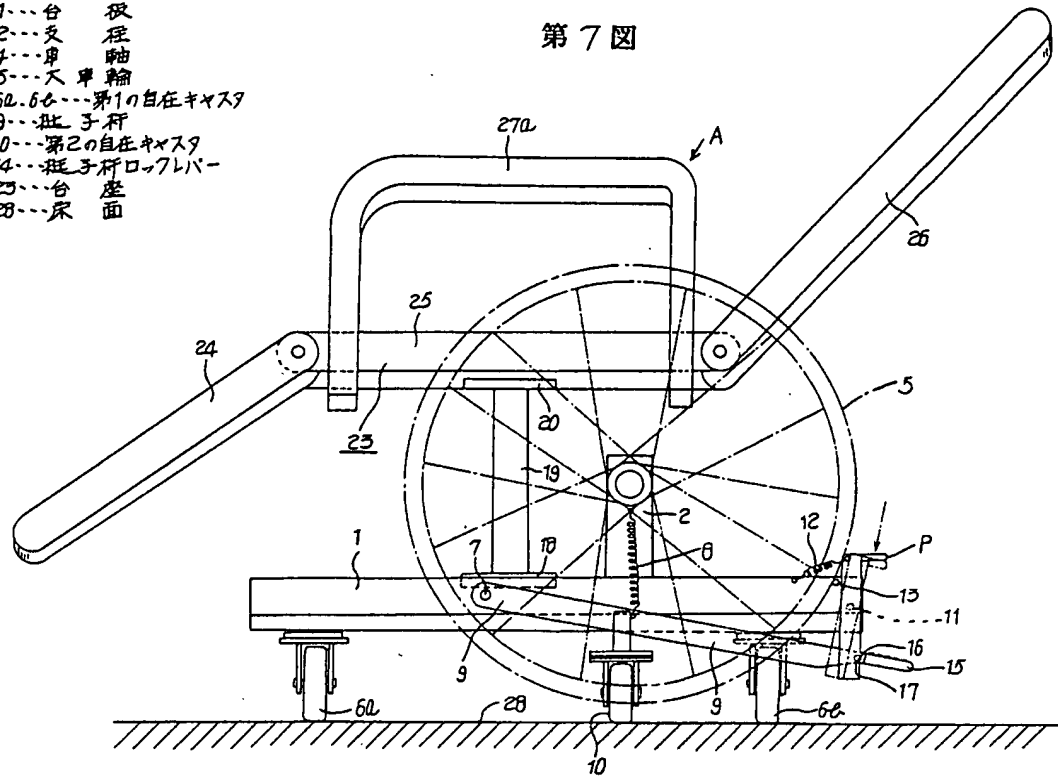
第6図

- 1...台板
2...支柱
4...車軸
5...大車輪
6a, 6b...第1の自在キヤスタ
9...揺子杆
10...第2の自在キヤスタ
14...揺子杆ロックレバー
23...台座
28...床面



- 1...台板
2...支柱
4...車軸
5...大車輪
6a, 6b...第1の自在キヤスタ
9...挺子杆
10...第2の自在キヤスタ
14...挺子杆ロープレバー
23...台座
28...床面

第 7 図



- 1...台板
2...支柱
4...車軸
5...大車輪
6a, 6b...第1の自在キヤスタ
9...挺子杆
10...第2の自在キヤスタ
14...挺子杆ロープレバー
23...台座
28...床面

第 8 図

